

アイエスオート通信

発行所 アイエスオート
岐阜市今嶺4-8-9
第037号 2020年8月発行
フリーダイヤル 0120-668-999

コロナ禍での自動車業界は？

クルマコンサルタントがあなたのカーライフを守ります!!

今回の記事のダイジェスト版を、YouTubeにて、下記のQRコードから配信しています。



また今回の記事であるAさんの経験談は下記

のQRコードでも確認できます。



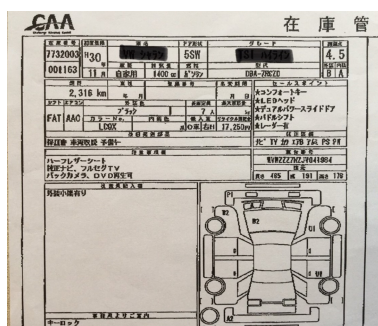
アイエスオート通信 37号

こんにちは、おクルマコンサルタントの伊藤です。自動車業界のコロナウイルス感染症の影響は、取り扱う商品・サービスの職種により様々ですが「ステイホーム」で外出する機会が減り交通事故が少なくレジャー活動や金銭修理の仕事が減っています。同じく燃料も使わないのでガソリンスタンドも同様です。半面、車検や自動車の点検整備はクルマの買い替えを見送って多少お金をかけてでも修理をする人が多く他の整備工場に聞いても昨年よりも忙しいようです。また新車販売に於いては、製造工場がストップして減産の影響があり納車が遅れているのと、先行きの不安もあって、「特別定額給付金」を貰っても気分的にも新車に買い替えようとはならないようです。以前は新車を買う人と中古車を買う人は大体同じ比率の5対5位でしたがコロナ禍になってからは中古車を買う人の方が若干多く新車より納車が早いことに加え少しでもお得にクルマを乗り換えたいという意識もあるようで中古車や現行モデルの高級の中古車に需要があります。

インターネットで知名度がある中古車媒体の「カー〇〇サー」



今回はそんなコロナ禍において中古車業界の現状を話したいと思います。4月の中旬に、当店を初めてのAさんから突然電話がありました。アイエスオートは小さな自動車整備工場ですが、会員制なので2人の社員は殆どのお客様の顔と名前を知っています。そのAさんから電話があった時は私は不在だったのですぐに折り返しの電話をしました。話を聞くと今年の3月に市内の某販売店で「修復歴無し」の中古車を約300万円で購入されたようです。



渡されたCAA岐阜の検査表

でその販売店を知り他店の同じクルマより安い価格に魅力を感じてクルマを見る前に契約をしたそうです。勿論カー〇〇サーネットの口コミもしっかりと確認して契約したそうですが、契約後にその販売店の対応に違和感を感じて、何か怪しいというか信用できなくなってきた。本当は事故車では無いかと思うようになってきたそうです。Aさんが購入したのは新車から2年落ちで走行距離3千キロメートル以下の輸入車でした。購入した販売店からも修復歴が無い証拠として「CAA岐阜」という全国規模のオートオークション会場が査定した検査表も渡されています。その検査表には評価4.5点の内装評価Aの高評価でした。

このオートオークションの検査といえは中古車の買取店や販売店が取引する際に基準とする検査で中古車相場が決まる重要な品質基準です。

それでも私に相談されるのには余程の訳があると思いAさんから更に詳しく話を聞きました。

中古車を甘く見ていた!!

不信感を持ったAさんは別のインターネットサイトで自分が購入した販売店の被害者が全国にいることを知ります。

それからのAさんは全国の被害者の方と連絡を取り合い同じ境遇の人たちの「被害者の会」を立ち上げられました。

その結果、その販売店で購入した人が全国にいて

「修復歴無しで購入したのに本当は事故車や水没車かもしれない」と言っている人が何人もいたのです。

その後にAさんもクルマの過去の車歴を調べる方法をこの被害者の会で情報を得て自分が購入したクルマの前使用者の名前、住所と電話番号を調べたそうです。

そしてAさんは前使用者の方に直接談判して「なぜクルマを手放したのか?」を聞き出そうと電話をしたそうです。

突然知らない人から電話がかかってきたら当然ですが最初は全く相手にしてくれなかったそうでした。しかしAさんの強い熱意で何度か電話をしていくうちに前使用者もわかってきて、ようやく話をしてくれました。

しかし前使用者の話は余りにも衝

撃の内容でした

購入したクルマは死亡事故?

「そのクルマは新車で購入しました。2ヶ月くらいたったある日、私が運転していて助手席の後ろの席にチャイルドシートで2歳の娘を乗せていました。」

そしてチャイルドシートの娘がぐずり出してどうしても私の隣の助手席に來たいと言い出して、私はやむなく助手席に來させました。

本来ならチャイルドシートごと移動すれば良かったのですがそれもせずシートベルトもろくにできない状況で座らせました。

その後、運悪く突然前から来た対向車と追突事故を起こしてしまい、その時に助手席にいた娘が・・・帰らぬ状態となってしまいました。そして事故をした私のクルマは全損となり保険会社が引き上げて私は新しい新車に代わりしました」

「もうあの事故のことは触れられたくもないのに・・・まさかAさんは僕が事故したクルマを購入されたのですか?」と聞かれたそうです。

そんな経緯が分かったAさんは中古車の契約等に関する法律を調べ、本当に修復歴車であることが証明できれば購入した中古車の契約を解除して某中古車販売店から全額返金の請求が出来ることを知り得ました。

しかし某中古車販売店に前使用者からの話をしてどれだけ交渉しても「事故はしていないと言い張ってきます」

Aさんは絶対に泣き寝入りはした

くないという一心でした。

中古車業界の実態!!

そんな事情を私もようやく分かりいよいよそのクルマが入庫する日となりました。

事前にAさんから私の方に電話があり某中古車販売店へクルマの受け取りに行くのに私も同行して欲しいとの依頼がありました。

私にも業界内での立場とそれ以上にリスクがあるので周りは大反対です。

同業者を敵に回すのはどうか? その販売店が反社会的な業者だったから?

など色々と考えましたが、余りにも酷い対応と気の毒な状況に置かれているAさんの力になりたいと思い同行することにしました。そして当日はAさんご夫婦に2人3歳のお子さんと3人で来店されました。

その時、真っ先に目についたのがAさんが乗ってこられたクルマのナンバープレートです。

私は近くの方だと勝手に思い込んで、Aさんに「どこから來られたのですか?」

と質問したら静岡県ですと答えられ、私はとても驚きました。

それは「そんな遠いところから何百万もする中古車を買うんだ!!」でした。

そしてAさんと某中古車販売店に同行しました、

その人も頼まれて持ってきただけで何もわからないと言ってて、怒ったAさんが店主に電話をしていました。

「納車時は立ち会うと言ったのに約束と違う、どうなっているんだ!!」

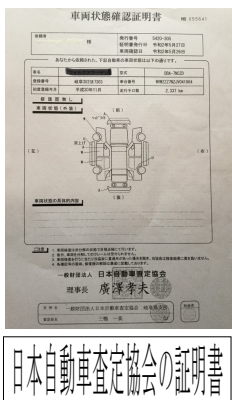
それから数分経ってからその販売店の店主が來ました。

Aさんの奥さんも納得できないことばかりだと言って店主に怒って話しています。

するとその店主が「日本自動車査定協会」の「車両状態確認証明書」のコピーを出してきました。

店主から受け取ったAさんから私にその検査表が渡されて検査内容は「修復歴無し」でした。

つまり全国規模のCAAオークションと公的機関として業界内で認知度の高い一般財団法人日本自動車査定協会の2つの検査機関での「修復歴無し」のお墨付きという事となるのです。



しかし私は同行して現車を見た瞬間に幾つかの違和感を感じました。

左ドア、フェンダー、ボンネットが再塗装されていて左右のチリ

(隙間) が合っていないので少なからず事故をしていることは直ぐに判断出来ました。

また私は何故アイエスオートに相談してこられたか? どうやって私を知ったかを尋ねました。

そしてAさんの奥さんが中古車業界内で最も信頼出来る検査機関が「AIS」であることを調べたそうです。

そしてAISのホームページから岐阜県内で認定資格を持つているのが私一人だったので当店に電話をしたということでした。



最高レベルの中古車検査!!

早速、私はそのクルマを工場に持ち帰り検査をしました。

左のフェンダー、ドア、は外さず再塗装してボンネットは脱着して再塗装してあります。

右側のフェンダー、ドアは塗装歴も脱着した痕跡もありません。ここで通常の検査では右側ではなくて左側の事故を疑います。

そして左側はフレームへの損傷は無いので2つの検査機関が「修復歴無し」と判断したのだと思います。

しかしボンネットを開けてエンジンルームを見てみると幾つかの損傷箇所がありました。

左ヘッドライトの傷やステアー

レ、エンジンブロックの割れ、グ

リルやコンデンサーなど多くの部品に傷跡があります。

また右側のフェンダーに押された時のエクボも気になります。

これはバンパー下付近の事故ではないかと予測を立てました。更にジャッキアップして前タイヤを外し下廻りから検査しました。

すると予想通りの右サイドメンバーが鈑金・交換されているのを発見しました。



その他にも交換されているのはフロントバンパー、バンパーステー、右ヘッドライトがありました。

それらはCAA岐阜や日本自動車査定協会では検査の対象外です。また助手席ドアの内張やセンターコンソールを外した痕跡なども確認しました。

これで助手席のエアバックが開きその衝撃で2歳の子が亡くなった。前使用者の話と辻褄が合いました。

そして、その総ての検査結果を法的にも通用する証明書として作成し瑕疵状態の写真も添付してAさんに郵送しました。

その後、Aさんが警察にも相談して事件となり某中古車販売店がテレビのニュースにも出ていたそうです。

皆さんも中古車を購入される場合は十分気を付けてください。